

- ① …市立浦和高校、惜敗 ～第92回全国高等学校サッカー選手権大会
- ② …第7回埼玉県第4種サッカーリーグ選手権大会 ～12月23日を振り返る～
- ③ …東北から来てくれた皆さんからのお便りです
- ④ …大会記録●県内大会 1種社会人・3種・クラブ・女子・シニア
- ⑤ …大会記録●県内大会 フットサル ●県外大会 1種・2種クラブ・3種・4種
- ⑥ …大会記録●県外大会 4種・女子・フットサル
- ⑦ …審判委員会より●お疲れ様でした～安元利充1級審判員、J1リーグ副審を引退
- ⑧ …おめでとう、1級審判合格～阿部将茂さん インフォメーション 編集後記

●発行/発行人:会長・相川宗一 編集人:荒川裕治 ●発行所/(公財)埼玉県サッカー協会 〒330-0074 さいたま市浦和区北浦和1-21-18 雁ヶ首ビル204号室 Tel048-834-2002-Fax048-834-2004 <http://www.saitamafa.or.jp/>

市立浦和高校、惜敗 ～第92回全国高校サッカー選手権大会

最後の最後まで攻め続けたが、同点のゴールは遠かった……。第92回全国高校サッカー選手権大会において、埼玉県代表として出場した市立浦和だったが、残念ながら3回戦で涙をのんだ。

2回戦からの出場となった今大会、市立浦和は初戦の初芝橋本戦を3対2で競り勝ち、17年ぶりの勝利を挙げた。翌日の富山第一との試合は前半で3失点してしまう波乱があったものの、前半終了直前に鍛冶選手が1点を返すとこれでチームは盛り返し、後半は一方向的にペースをつかんだ。17分に1点を返し、さらに猛攻を仕掛けるが、結果的に今大会で優勝した富山第一の守備陣は厚く、力尽きた。

基本に忠実で、かつ攻撃的なサッカーのスタイルは、最後まで観客の皆さんを熱くさせた。選手、スタッフの皆さんにはさらなる飛躍を期待したい。



2回戦 市立浦和 vs 初芝橋本

第92回全国高校サッカー選手権大会

12月31日～1月13日 国立競技場他

2回戦 **市立浦和 3 - 2** 初芝橋本(和歌山県)
得点者: 戸嶋祥郎、OG、石神佑基(市立浦和のみ)

3回戦 **市立浦和 2 - 3** 富山第一
得点者: 鍛冶光一、稲辺光(市立浦和のみ)

※優勝は富山第一高校



3回戦 市立浦和 vs 富山第一

優勝は新座片山FC。2年ぶり2度目! ～第7回埼玉県第4種サッカーリーグ選手権大会

12月23日、埼玉スタジアムで「第7回埼玉県第4種サッカーリーグ選手権大会」の決勝戦が開催された。決勝のカードとなったのは、準決勝でコスモ川越を破った新座片山と、同じく浦和レッズジュニアを下したNEOS FC。試合は、前半2分に新座片山が新井選手のゴールで均衡を破ると、前半のうちにさらに2点、後半にも2点と加点し、結果5対0でNEOSを圧倒した。これで、新座片山が390チームの頂点に立った。

NEOSとしては、一度傾いた流れを引き寄せることはできなかったものの、最後まで諦めないプレーを見せてくれたことで場内から大きな拍手が送られた。

両チームを称えと共に、参加してくれた全チームの子供たちに感謝したい。これからもサッカーを続けてください。(2ページに特集記事)



第7回埼玉県第4種サッカーリーグ選手権大会 ～12月23日を振り返る～

例年12月23日は、埼玉スタジアムで一日サッカーを楽しめるようになっています。今回も、準決勝、決勝という試合だけでなく、スタジアムのあちこちで行われていたことを紹介したいと思います。

主催 (公財)埼玉県サッカー協会
 主管 (公財)埼玉県サッカー協会第4種委員会
 後援 埼玉県教育委員会 / NHK さいたま放送局
 テレ玉 / FM NACK5 / 埼玉新聞社
 協賛    
 特別協力  



決勝 新座片山 FC 少年団 vs NEOS Football Club



表彰式



ティーパーティー



準決勝 NEOS Football Club vs 浦和レッドダイヤモンズジュニア



準決勝 新座片山 FC 少年団 vs コスモサッカークラブ川越



第4種リーグ戦写真展



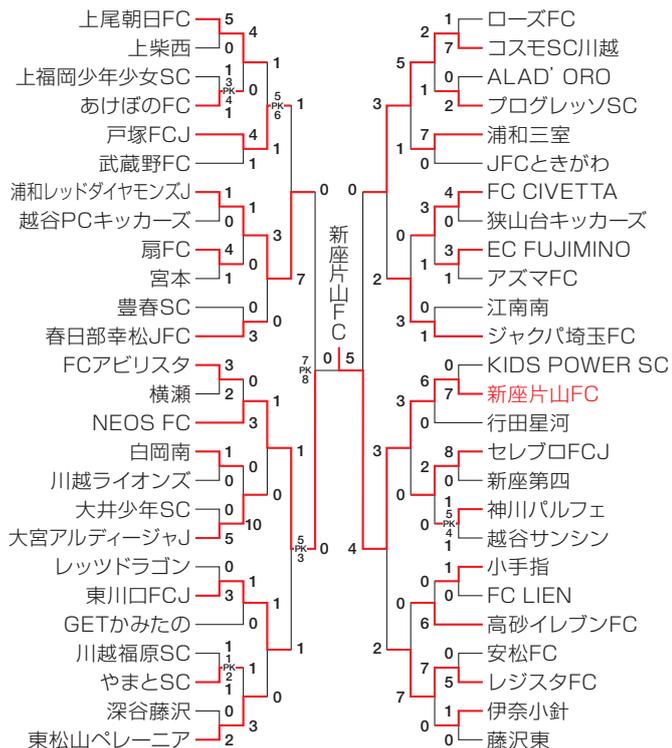
チャリティ豚汁販売



NHK さいたま放送局イベント



ミニサッカー大会



キッズエリートマッチU-10



東北3県被災地招待試合

喜久田FC(福島県)、U-12宮城県代表、大槌サッカークラブ・ジュニア(岩手県)を招き、交流試合を開催しました。

◀きずなメッセージボールの交換



喜久田 FC vs 白岡南サッカースポーツ少年団

東北から来てくれた皆さんからのお便りです

「私の東日本大震災」

U-12 宮城県代表 古川第二小学校 大平 優真

「ゴゴゴ、キシキシ。」

ぼくは、友達と家のそばで化石ほりをしていた時、地震にあいました。お母さんは外に出ていて、弟は泣いていました。お父さんもすぐに帰宅し、近くの高校にひなんしました。こんなに大変な事と分からず、ぼくは友達と遊んでいました。

夜になり、寒いしおなかもすいたので、中新田のおじいさんの家に行きました。それからしばらく口ウソク生活が続きました。はじめは楽しくすごせましたが、電気のない生活は、こんなに大変なんだと感ずくようになりました。いつになったら今までの生活に戻れるのだろうかと不安でした。

何日かして電気がもどり、帰宅できた時、うれしくてすぐにテレビをつけました。でも楽しみにしていたテレビは、信じられないものばかりでした。ぼくの大好きな海は、津波でがれきの山。毎年行く思い出の場所もなくなっていました。ぼくは家もある。水も飲める。家族全員そろっている。そう考えたら幸せなんだと思いました。

次の日、南三陸町の人がくつがないというので、たくさん集めお父さんは、友達と届けに行きました。お風呂に入れない人は家によんで、だん水の家には水を持って行きました。少しだけ、おこづかいからぼ金しました。ぼくの家にも、食べ物やガソリンを持って来てくれる人がいて、助け合う事を知りました。

あれから5ヵ月たちました。石巻やのびる海岸に行ってきました。テレビで見ていたけれど想像をこえていました。言葉が出ませんでした。ぼくは、何不自由なく生活できていますが、津波にあった人はまだまだ復興に時間がかかると思っています。それに原発というむずかしい問題もあります。

ぼくは、これから何ができるか考え中です。でも震災で分かった事、それは助け合い、命の大切さ。亡くなった人の分まで、ぼくは、がんばって生きてみたいです。(※ 2年前の作文)

.....
大槌サッカークラブ・ジュニア 監督 平舘 眞

私どもの倶楽部は、2011年4月に、大槌FC・ジュニア、吉里吉里サッカー少年団、大槌サッカークラブの3チームが、合併して発足しました。

合併の最大の理由は、あの東日本大震災によることです。

ご存じのとおり、大槌町は大地震、大津波、大火災により、壊滅的な被害を受けました。人口の1割が死亡・行方不明、住宅地は5割以上浸水し、私たちのチームでも、当時5年生の男の子と、1人のコーチ、多くのサッカー関係者を失いました。

現在、在籍中の子供たちは、当時、3年生以下の子供たちでした。もちろん、通っている学校も無くなり、帰る家も失った子供たちが多数です。それより、自分を可愛がってくれる父、母、家族を一瞬で失った子供もいます。それでも、子供たちは、元気に明るく、何事もなかったかのように、ボールを追い回していました。

私たちに出来ることは、サッカーの出来る環境とか、必要なボール等を、何とかして集めることでした。その心配は、各方面からの支援で何とか叶うことが出来ましたが、肝心のグラウンドの確保は今未定のままです。

今回の遠征には、岩手県サッカー協会4種委員会と、沿岸地区の指導者の皆様のご理解により、単独チームで参加させていただきました。

どうしても、この埼玉スタジアムのピッチに立たせて、サッカーを続けてきた子供たちに、苦しかったこと、悲しかったことを、少しでも拭い去ってほしいとともに、『頑張ったな、ありがとう』の言葉をかけてやりたいからです。

このような機会を与えてくださいました埼玉県サッカー協会の皆様、本当にありがとうございました。

.....
大槌サッカークラブ・ジュニア 飛田 龍之介

こんにちは。2011年3月11日、小学校にいた僕は、ものすごい揺れと、津波警報のために、高台にある大槌高校に避難しました。もちろん学校全員です。怖かったけど、1学年下の妹も一緒なので、我慢しました。津波が引いたあと家に帰ったら、今度は山火事が目

の前まで来ました。保育園に通っている妹と弟と、お父さんと5人で、お母さんの帰りを待っていました。電気はなく、暗く寒かったことを、覚えています。

それから、何日たっても、お母さんは帰ってきませんでした。僕たち兄妹は、埼玉のお母さんの実家に引っ越してきました。本当は大槌に残ってお母さんを探す手伝いをしたかったのですが、お父さんが一人で探すことになったからです。

夏になると、大槌に帰ってこいと、電話がありました。お母さんが見つかったのかなと思って、みんなで大槌に戻ったのですが、修復師のお姉さんが、綺麗にしてくれた、笑顔の、お母さんが、布団の上に動かず横になっていました。僕は、兄妹の前で、初めて大声を出して泣きました。

悲しかった僕に、『龍、サッカーするぞ』と、声をかけてくれた監督と、僕と同じように、お父さんが行方不明なのに、女の子なのに、一生懸命プレーする、美優ちゃんと、明るいチームの仲間たちの支えがあって、今もこうしてサッカーを続けています。

埼玉スタジアムで試合をしている自分を、埼玉生まれの、お母さんに見てほしかった。僕は体は小さいんですが、いつかは全日本に入り、この埼玉スタジアムで、プレーできるような選手になるのが夢です。今日は、招待してくれて、ありがとうございました。

.....
大槌サッカークラブ・ジュニア 久保 美優

こんにちは。3年前、サッカーを始めたいということで、吉里吉里の少年団に入団しました。私にサッカーを教えてくれたのは、大好きだった父でした。父は、私と一緒に少年団に入り、コーチとして教えてくれました。3月11日、あの震災の日、消防団員として救助作業中に、津波に呑み込まれ、行方不明になってしまいました。毎日、毎日、父が帰ってくるのを家族全員で待っていました。母は、毎朝、父を捜しに出かけていましたが、見つけてくるのは、父の名前が入った消防団のヘルメットや、いつも車に積んでいたバイクの片方でした。前日まで、一緒にサッカーをしていていた父と、二度とサッカーができなくなりまして。

今、私にサッカーを教えてくれているのは、父ではなく、震災後に3チームが合併してできた、大槌サッカークラブ・ジュニアの監督やコーチ達です。最初のころは、チームに慣れず、辞めたいなど、思っていました。そんな時、私に声をかけてくれたのは、今、一緒にプレーしている仲間たちです。男女関係なく、接してくれる仲間たちに感謝しています。

私は、サッカーを続けるために、大槌中学校に入学しようと思っています。私の地域の中学校にはサッカー部が在りませんし、何より、今のチームメイトと一緒にサッカーをしたいからです。女の子一人ですが、負けないで頑張っていきたいと思っています。

最後に、震災があり、父を亡くした自分にとって、サッカーが一番の楽しみであり、唯一、父と繋がっているという気持ちを持って時間の中で、中学になっても、それから先も、この気持ちを忘れずに、明るく、楽しい、この仲間たちと一緒に、サッカーを続けていきたいと思っています。埼玉県サッカー協会の皆さん、今日は、招待していただき、ありがとうございました。

.....
大槌サッカークラブ・ジュニア キャプテン 阿部 大輝

こんにちは。僕たちは、岩手県の大槌町から来ました。2011年3月11日、東日本大震災で家、学校、町全体、多くのものを失いました。あの震災で、僕たちチームの8割以上の仲間が仮設住宅で暮らしています。でも、こうして大好きなサッカーを続けることのできるのは、大槌町の人達みんなが協力したり、日本全国からの支援や、世界中のサッカー・ファミリーの励ましがあったからだと思っています。

今は、少しずつ明るい元気な町に戻つつあります。それでも僕たちにはグラウンドがありません。以前はサッカー場だった仮設校舎の狭い校庭で、支援していただいた簡易照明を使って、午後6時から午後7時30分まで、薄暗い中、一生懸命、練習しています。

僕の目標は、2020年の東京オリンピックで活躍することです。この目標を実現できるように、これからも頑張っていきます。今日、この埼玉スタジアムで試合できたことを、嬉しく思っています。埼玉県サッカー協会の皆様、本当に、ありがとうございました。

大会記録 ● 県内大会

1種・社会人

2013年度埼玉県社会人サッカーリーグ1部

●全日程終了

順位	チーム名	勝	分	負	得点	失点	差	勝点
1	パイオニア川越	14	3	1	51	13	+38	45
2	FC TIU	14	2	2	67	17	+50	43
3	クマガヤSC	10	2	6	64	34	+30	32
4	アルドル狭山	9	1	8	51	43	+8	28
5	越谷FC	8	4	6	40	38	+2	28
6	クラブフェニックス	7	0	11	43	62	-19	21
7	FC西武台	5	6	7	33	41	-8	20
8	狭山ラトルズSC	5	3	10	36	51	-15	18
9	浦和レッズアマチュア	4	1	13	25	61	-36	13
10	川越全酪	2	2	14	18	67	-49	7

3種

2013年度第6回埼玉県ユース(U-15)サッカーリーグ

●全日程終了

順位	チーム名	勝	分	負	得点	失点	差	勝点
1	ディプロ	7	1	1	32	4	+28	22
2	アレグレ	6	1	2	23	9	+14	19
3	武南Jr	5	3	1	32	11	+21	18
4	クラブ与野	5	1	3	23	14	+9	16
5	大宮FC	4	2	3	13	12	+1	14
6	アスミ	4	1	4	16	9	+7	13
7	KASUKABE	3	3	3	15	12	+3	12
8	東浦和中	2	1	6	17	33	-16	7
9	土合中	1	1	7	10	34	-24	4
10	大原中	1	0	8	10	53	-43	3

2013年度第2回埼玉県ユース(U-13)サッカーリーグ

●全日程終了

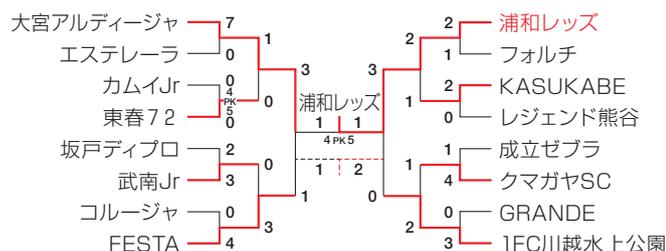
順位	チーム名	勝	分	負	得点	失点	差	勝点
1	GRANDE	6	1	0	20	4	+16	19
2	コルージャ	5	1	1	18	8	+10	16
3	KASUKABE	3	1	3	14	10	+4	10
4	FC深谷	2	2	3	10	8	+2	8
5	アレグレ	2	2	3	11	13	-2	8
6	HAN	2	2	3	9	11	-2	8
7	成立ゼブラ	1	3	3	8	17	-9	6
8	岸中学校	1	0	6	4	23	-19	3

クラブ

第23回埼玉県クラブユース(U-14)サッカー選手権大会

12月1日～1月25日 熊谷スポーツ文化公園陸上競技場他

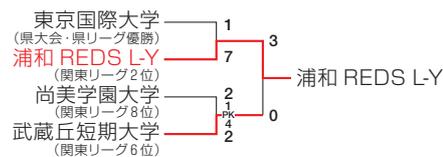
●決勝トーナメント



女子

2013年度第6回埼玉県サッカー協会会長杯 兼 第35回埼玉県女子サッカー選手権大会

12月15日、22日 浦和駒場スタジアム他



2013 第21回埼玉県女子サッカーリーグ1部

●全日程終了

順位	チーム名	勝	分	負	得点	失点	差	勝点
1	東京国際大学	9	0	0	67	2	+65	27
2	大東文化大学	8	0	1	56	6	+50	24
3	エルフェン・マリ	7	0	2	35	15	+20	21
4	浦和レッズJrY	5	1	3	21	12	+9	16
5	アスパージュ熊谷	5	0	4	18	21	-3	15
6	戸南ボンバーズ	3	1	5	17	20	-3	10
7	大宮エンジェルス05	3	1	5	13	34	-21	10
8	白岡SCL.U-15	2	1	6	14	48	-34	7
9	上福岡女子	0	1	8	7	36	-29	1
10	川越レディース	0	1	8	8	62	-54	1

第10回埼玉県女子U-15サッカーリーグ1部

●1月19日現在

順位	チーム名	勝	分	負	得点	失点	差	勝点
1	戸南ボンバーズFC	10	0	1	34	4	+30	30
2	白岡SCL	9	2	0	48	3	+45	29
3	ASエルフェン・マリ	8	1	2	21	5	+16	25
4	大宮エンジェルス05	6	2	2	27	4	+23	20
5	白岡SCL U-14	6	1	4	17	20	-3	19
6	FC熊谷プレシオッサ	5	0	6	21	17	+4	15
7	ホワイトスター高崎	5	0	5	29	27	+2	15
8	大宮エンジェルス09	3	4	4	7	10	-3	13
9	AS館林フェリス	3	0	8	12	39	-27	9
10	河内ジュベニール	2	1	8	15	36	-21	7
11	SEフィリアFC	2	1	8	13	37	-24	7
12	TSガールズU-15	0	0	11	8	50	-42	0

シニア

2013年度60リーグ戦績表

順位	チーム名	勝点	得失差
1	FSC	23	+15
2	ポラリス	21	+16
3	浦所チーム	15	+7
4	サウスフレンズ	13	+1
5	パルス・US	10	+8
6	KMO	0	-47

2013年度65リーグ戦績表

順位	チーム名	勝点	得失差
1	サクラ65	22	+12
2	ケヤキ65	7	-12

2013年度ロイヤルリーグ戦績表

順位	チーム名	勝点	得失差
1	パルス R	33	+34
2	FFC R	21	+7
3	ゼルコバ R	0	-41

2013年度第5回シニアフェスタ

1月13日 埼玉スタジアム第3グラウンド

Over 50(シニア選手権決勝) 川越シニア 0-0 パルスFC (1PK3)

※パルスFCは全国シニア大会関東大会に出場する。

Over 40交流戦 第1回シニアO-40 2部南部・北部交流戦

F・Station サンシンシニア 2-1 西武クラブ飯能

Over 70交流戦 FFC 1-1 パルス

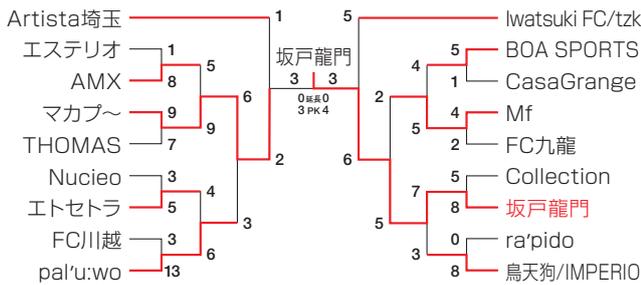
Over 65交流戦 さくら 2-0 けやき

Over 60(リーグ優勝vsリーグ準優勝) FSC 3-0 ポラリス

フットサル

PUMA CUP 2014全日本フットサル選手権大会埼玉県大会

9月8日～12月8日 宮代町総合体育館他



※優勝した坂戸龍門が関東大会へ出場する。

2013年度第13回埼玉県フットサルリーグ1部

●全日程終了

順位	チーム名	勝	分	負	得点	失点	差	勝点
1	烏天狗/IMPERIO	8	0	1	34	24	+10	24
2	坂戸龍門	5	2	2	40	30	+10	17
3	pal'u:wo	5	1	3	31	27	+4	16
4	Collection	4	2	3	29	25	+4	14
5	Mf	4	1	4	30	28	+2	13
6	FC九龍	4	1	4	28	37	-9	13
7	THOMAS	3	2	4	25	29	-4	11
8	ロクFC	3	0	6	36	34	+2	9
9	レスト戸田FC	1	3	5	30	34	-4	6
10	Nucleo	1	2	6	24	39	-15	5

第1回埼玉県ユース(U-15)フットサルリーグ

●全日程終了

順位	チーム名	勝	分	負	得点	失点	差	勝点
1	ESPORTE CLUBE JOGADOR	6	0	0	29	5	+24	18
2	紋蔵庵FQ	3	0	3	25	17	+8	9
3	フォルテFC	2	0	4	21	15	+6	6
4	If Levante Futsal Familia	1	0	5	7	45	-38	3

大会記録●県外大会

1種

第93回天皇杯全日本サッカー選手権大会

3回戦 大宮アルディージャ 0-0 ガンバ大阪 (4PK3)
 浦和レッズ 2-3 モンテディオ山形
 4回戦 大宮アルディージャ 0-3 FC東京

※横浜F・マリノスが優勝

埼玉県・東京都社会人サッカー交流戦

1月11日 味の素フィールド西が丘
 東京都リーグ選抜 7-0 埼玉県リーグ選抜

2種・クラブ

高円宮杯U-18サッカーリーグプリンスリーグ1部

●全日程終了

順位	チーム名	勝	分	負	得点	失点	差	勝点
1	前橋育英高校	11	5	2	44	21	+23	38
2	柏レイソルU-18	10	4	4	39	28	+11	34
3	市立船橋高校	8	5	5	45	22	+23	29
4	大宮アルディージャユース	8	3	7	26	26	±0	27
5	横浜F・マリノスユース	7	5	6	42	39	+3	26
6	FC東京U-18	8	2	8	32	41	-9	26
7	山梨学院大学附属高校	7	4	7	39	43	-4	22
8	浦和レッドダイヤモンズユース	4	6	8	27	33	-6	18
9	横浜FCユース	3	8	7	24	35	-11	17
10	八千代高校	2	2	14	24	54	-30	8

高円宮杯U-18サッカーリーグプリンスリーグ2部

●全日程終了

順位	チーム名	勝	分	負	得点	失点	差	勝点
1	川崎フロンターレU-18	16	0	2	72	17	+55	48
2	國學院大学久我山高校	11	2	5	57	30	+27	35
3	ジェフユナイテッド市原・千葉U-18	8	3	7	26	29	-3	27
4	武南高校	8	1	9	34	28	+6	25
5	桐蔭学園高校	7	4	7	33	33	±0	25
6	佐野日本大学高校	6	4	8	16	36	-20	22
7	関東第一高校	6	3	9	23	27	-4	21
8	幕張総合高校	6	3	9	29	47	-18	21
9	鹿島学園高校	6	2	10	29	40	-11	20
10	水戸ホーリーホックユース	4	2	12	14	46	-32	14



武南高校

2013 Jユースカップ 決勝トーナメント

11月2日～12月23日 長居スタジアム他

1回戦 浦和レッズユース 3-1 横浜FCユース
 2回戦 ジュビロ磐田ユース 1-2 浦和レッズユース
 3回戦 浦和レッズユース 2-3 川崎フロンターレ

※優勝はヴィッセル神戸U-18

3種

2013年度高円宮杯第25回全日本ユース(U-15)サッカー選手権

12月22日～18日 J-GREEN堺他

1回戦 浦和レッズ 3-0 ソレックス熊本
 ジュビロSS磐田 1-2 大宮アルディージャ
 2回戦 浦和レッズ 2-1 カターレ富山
 コンサドーレ札幌 0-1 大宮アルディージャ
 準々決勝 浦和レッズ 3-2 横浜F・マリノス追浜
 大宮アルディージャ 3-1 SQUARE富山
 準決勝 柏レイソル 1-3 浦和レッズ (延長)
 大宮アルディージャ 1-0 三菱養和SC堺鴨
 決勝 浦和レッズ 2-1 大宮アルディージャ

※浦和レッズは8年ぶり2度目の優勝

2013年度高円宮杯第25回全日本ユース(U-15)サッカー選手権関東大会代表決定戦

11月9日～17日

●Aブロック

1回戦 東急レイエス 1-3 HAN FC
 クマガヤSC 3-0 坂戸ディプロマッツ
 2回戦 クマガヤSC 5-2 横河武蔵野FC
 準決勝 クマガヤSC 2-0 川崎フロンターレU-15
 決勝 JSC CHIBA 2-1 クマガヤSC

●Bブロック

1回戦 FC東京U-15むさし 1-0 武南JY
 GRANDE FC 3-0 FC古河
 2回戦 GRANDE FC 3-4 横浜F・マリノス追浜

●Cブロック

1回戦 市原・千葉U-15 1-0 埼玉UNITED FC FESTA
 フォルトゥナSC 3-0 FC KASUKABE

※全国大会出場は浦和レッズ(関東リーグ1部1位)、大宮アルディージャ(//4位)など8チームとなった。

4種

第24回関東選抜少年サッカー大会

12月7日、8日 ひたちなか総合運動公園他

●予選リーグ

A組		勝	分	負	得点	失点	差	勝点
1位	千葉県TC・ブルー	2	0	1	13	1	+12	6
2位	埼玉U-12・SP	2	0	1	12	5	+7	6
3位	小田原選抜	2	0	1	4	5	-1	6
4位	秋田県TC・U-12	0	0	3	0	18	-18	0

F組		勝	分	負	得点	失点	差	勝点
1位	神奈川TC	3	0	0	15	1	+14	9
2位	茨城県TC・U-12	2	0	1	13	5	+8	6
3位	埼玉U-12・DX	1	0	2	7	7	±0	3
4位	岩手県選抜・U-12	0	0	3	0	22	-22	0

●決勝リーグ

4組		勝	分	負	得点	失点	差	勝点
1位	神奈川TC	2	0	0	9	2	+7	6
2位	埼玉U-12・SP	1	0	1	3	7	-4	3
3位	群馬選抜	0	0	2	3	6	-3	0

※優勝は神奈川トレセン

女子

皇后杯第35回全日本女子サッカー選手権大会

11月23日～12月23日 NACK5スタジアム大宮他

1回戦	長野バルセイロレディース	0-5	ASエルフェン狭山
2回戦	ASエルフェン狭山	2-0	静岡産業大学磐田ボニータ
3回戦	吉備国際大学Charme	2-1	浦和レッズレディース
	岡山湯郷Belle	4-3	ASエルフェン狭山 (延長)

※優勝はINAC神戸レオネッサ

第22回全日本大学女子サッカー選手権大会

12月24日～1月19日 味の素フィールド西が丘他

1回戦	東京国際大学	7-0	九州共立大学
	愛媛大学	0-3	尚美学園大学
2回戦	東京国際大学	2-0	静岡産業大学
	尚美学園大学	1-0	武蔵丘短期大学
準々決勝	姫路獨協大学	1-3	東京国際大学
準決勝	東京国際大学	1-2	筑波大学

※優勝は吉備国際大学

第17回全日本女子ユースサッカー選手権大会

1月3日～7日 J-GREEN 堺

1回戦	浦和レッズレディースユース	21-0	トレーフルFC fille
2回戦	浦和レッズレディースユース	6-0	ブラセル神戸
準決勝	浦和レッズレディースユース	3-0	市原・千葉レディースU-18
決勝	日テレ・メニーナ	4-0	浦和レッズレディースユース

※優勝は日テレ・メニーナ

第22回全日本高等学校女子サッカー選手権大会

1月11日～16日 ヤマハスタジアム他

1回戦	常磐木学園高校	6-0	本庄第一高校
-----	---------	-----	--------

※優勝は日ノ本学園高校

第22回 関東高等学校女子サッカー選手権大会

11月2日～9日 群馬・私学財団グラウンド他

1回戦	十文字高校	7-1	浦和西高校
	本庄第一高校	5-0	大田原高校
	日本航空高校	4-0	埼玉平成高校
2回戦	本庄第一高校	1-4	湘南学院高校
敗者決定戦	宇都宮文星高校	1-3	本庄第一高校
	本庄第一高校	1-6	日本航空高校

※本庄第一高校は6位となり、本大会へ出場する

少女サッカー都県選抜チーム関東・東北交流大会

1月18日、19日 吉見町ふれあい広場他

●予選リーグ

Bブロック		勝	分	負	得点	失点	差	勝点
1位	栃木県選抜	1	1	0	4	2	+2	4
2位	千葉県選抜	1	0	1	2	3	-1	3
3位	埼玉県選抜レッド	0	1	1	3	4	-1	1

Cブロック		勝	分	負	得点	失点	差	勝点
1位	神奈川県選抜	2	0	0	7	3	+4	6
2位	茨城県選抜	1	0	1	6	5	+1	3
3位	埼玉県選抜イエロー	0	0	2	2	7	-5	0

Dブロック		勝	分	負	得点	失点	差	勝点
1位	埼玉県選抜ホワイト	2	0	0	19	0	+19	6
2位	山梨県選抜	1	0	1	3	5	-2	3
3位	福島県選抜	0	0	2	1	18	-17	0

●決勝トーナメント



※優勝は埼玉ホワイト。レッドは11位、イエローは12位。

フットサル

PUMA CUP 2014

第19回全日本フットサル選手権大会関東大会

1月18日～25日 取手グリーンズスポーツセンター

1回戦	坂戸龍門	2-5	ファイルフォックス府中
-----	------	-----	-------------

※優勝はふうがすみだ

第19回全日本ユース(U-15)フットサル大会関東大会

11月23日～30日 水海道総合体育館他

●予選リーグ	マルバ茨城	3-5	フォルチFC A
	フォルチFC A	6-8	八ヶ岳グランデ

※優勝したマルバ茨城fcとルキナスブルーが本大会に出場する。

バーモントカップ第23回全日本少年フットサル大会

1月4日～6日 駒沢体育館他

グループK	FCリベルダーデ山口	2-5	江南南サッカー少年団
	仁井田レッドスターズ	1-5	江南南サッカー少年団
	デサフィーオクラブデフットボル	0-13	江南南サッカー少年団
ラウンド16	ファンアカデミー	6-7	江南南サッカー少年団
準々決勝	江南南サッカー少年団	6-1	プリンカールFC
準決勝	ベガルタ仙台ジュニア	2-6	江南南サッカー少年団
決勝	鹿島アントラーズジュニア	1-4	江南南サッカー少年団

※優勝は江南南サッカー少年団(2回目)。

第4回全日本女子ユース(U-15)フットサル大会関東大会

11月23日～30日 水海道総合体育館他

1回戦	白岡SCL	2-2	YSCCコスモス (3PK4)
-----	-------	-----	-----------------

※優勝したFC千葉なのはなが本大会に出場する。

トリムカップ2014 第6回全国女子選抜フットサル大会関東大会

1月18日、19日 小山市・県南体育館

●Bグループ	茨城県	0-8	埼玉県
	埼玉県	1-0	神奈川県
	埼玉県	2-1	栃木県

※埼玉県選抜は関東地域第2代表として全国大会に出場。

審判委員会より

●お疲れ様でした ～安元利充1級審判員、J1リーグ副審を引退～

昨年の大宮対磐田のA1担当を最後に、安元利充さん(大宮工業高校教諭)が、J1リーグ副審を引退されました。これまでの審判活動を振り返っていただこうと思います。

「できればやりたくなかった」

—まずは、審判の世界に進んだきっかけを教えてください。

大学(順天堂)を卒業して、教員になったのですが、サッカー部の顧問になるには大会に参加する関係から審判の資格を持たなければいけないといわれました。そこで23歳で4級を取得しました。最初の赴任校が、当時弱かったものですから、どうしても負けたチームの顧問が大会の上位の対戦を担当することになるものから、高校(浦和市立)の大先輩である山北先生(泰氏・当時県審判委員長)から「2級を取れ」と言われて……「はい」としか言えなかったんですね。積極的に資格を取ったわけではありませんでした。

27歳で2級になったのですが、そこから本格的に始めた感じですね。他人より、ちょっと遅いんですよ。

—2級を取ってから何が変わったのでしょうか。

県外の試合や講習会に行くことになったんですね。関東高校大会やミニ国体など。そういうところに行けない審判の方もいるのに、行かせていただくようになって、徐々に「これは逃られないな」と思うようになったんです。インストラクターの皆さんには、私の指導に時間を使っていただき、場も与えられていただきましたからね。その中で真面目に取り組んでいくうちに、面白さが見えてきました。

—その面白さ、とは。

1試合、うまく成し遂げた充実感ですね。実際はほとんどよくないのですが、ごくたまにいい試合ができると、それが次の意欲につながるのです。また、いろいろとご指導していただき、それをやってみると上手くいったりするので、「もっとやってみよう」と思うようになったのです。

私自身、けなされてもやる気は無くならないタイプなんです。一度決めたことは最後までやり通すほうです。

—ぶれないんですね。それが審判に向いているのではないですか？

確かにぶれないですね。だからか、学校でも生徒指導を担当して25年になります(苦笑)。

「目立った活躍もなく、目立ったミスもなく」

—なるほど(笑)。さて、1級になられたのはおいくつの時でしたか。

35歳ですね。時間がかかりました。2級を取った当初は、自分自身、エンジンがかからなかったというか(笑)。あと、ちょっと欲を出したら、遠のいたというか。

2000年、1級になってすぐ、J2のアルビレックスのホームゲームで副審を務めたことは覚えています。倉持先生(守三郎氏・元国際審判)がアセッサーでいらした、いい点を付けていただきました(笑)。



写真提供：埼玉新聞社

それよりも緊張したのは、2002年に、武南と埼玉栄の選手権予選の決勝を担当したときですね。自分自身「ようやくここまで任せてもらえるようになったか」と思ったことを覚えています。

これまでもそうでしたが、地元での担当は緊張しましたね。レッズ、アルディージャのホームゲームもそうでしたし、

ましてや高校サッカーとなると自分の職場でもありますから、責任も感じます。

私は目立った活躍ありませんが、目立ったミスも無かったですね。サポーターの皆さんに囲まれるようなこともありませんでした。—その秘訣は？

まずは集中することです。そして切り替えをしっかりとすること。ちょっとしたミスを感じても、引きずらずに「次へ」。先ほどの話の途中ですが、1級になった後、上(国際)を目指そうとするとミスをしていました。あとでビデオを見ると、なぜか出しゃばっていたんですよ。普通に見ていたら、流すような場面で旗を上げているんです。選手やサポーターに受け入れられるジャッジをしていなかったわけです。

ある日思ったのですが—まあ、35歳で1級になったからでしょうか、2年目からは全体の中の自分の立ち位置を理解して担当するようにしたんです。そこからですね。欲を持つといけな いと思いました。

「2月に肉離れ。そこで決意しました」

—さて、今季での引退についてなのですが、直接の理由はあるのでしょうか。

審判の定年が無くなったのですが、3年前から年に一度、肉離れをするようになり、割り当てをキャンセルしなければならぬことが続きました。一度組んだ割り当てを修正するのは大変な作業です。ケガをすると1か月くらいは休みですから。これは心苦しいことでした。

2013年は、とにかくケガをしないで乗り切ろうと思ったのです。ケガをしたら引退しよう決めました。ですから元旦からトレーニングをして、ランニングで調社に行き、一人で初詣をしたんです。が、2月の体力テストで肉離れをしてしまったんです。やりすぎもいけなかったな、と。ここで腹を決めましたね……迷いましたが、ただ、その後はケガなく過ごすことができました。審判用のトレーニングも続けましたし、苦手な針を打ったりもしましたから。それでも……。

—今年からJ3も始まりです。審判も足りないのではないのでしょうか……。しかし、ブレないですね。

そうですね(苦笑)。あと、J1での担当100試合も達成しましたので(第26節。横浜FM vs 清水)、そういう区切りもありました。次の担当が大宮対大分(@熊谷)でして、そのときには子供3人から花束を受け取りました。

もう、やれないですね。ただ、顧問としては県大会などでは担当しようと思っています。

—長くなりました。最後に後進の皆さんにメッセージをお願いします。

願っているのはサッカーの発展です。ワールドカップでの日本代表の優勝もそうです。私だけでなく、息子も孫もサッカーをする—それが文化になることも。「サッカーは、いい趣味ですね」と言われたいのです。その中で競技者も大切ですが、審判も大きな役割を果たしているということを理解していただきたいと思います。このサッカーの発展のために、もし皆さんが審判を目指すのであれば、自分の力を最大限に発揮してほしいと願っています。とことんやってほしいですね。あとと思うことは、プレーヤーは上のカテゴリーになればなるほど、プラスアルファの才能が必要になります。でも審判は努力すれば上に行けるんです。がんばってください。



安元 利充 (やすもと・としみつ)

1965年4月25日生まれ。さいたま市出身。浦和市立高校時代は県選抜としても活躍。順天堂大学を経て、埼玉県教員に採用される。現在、県立大宮工業高校勤務。

●おめでとう、1級審判合格～阿部将茂さん

JFAレフェリーカレッジに合格し、指導を受けていた阿部将茂さんが1級に合格しました。今後のご活躍を期待しています。

「この度、1級審判員として認定された阿部将茂です。高校1年生の頃に4級の資格を取得してから約12年、ようやくここまで辿り着くことができました。審判をはじめた頃は、技術はもちろん、知識も全く無い中でただひたすら審判を行っておりましたが、恩師である上荒敬司先生をはじめ、多くの方々の支えやご指導のおかげでここまで来ることができました。本当にありがとうございます。ただ、1級審判員になることが最終的な目標ではないので、これからはJリーグ担当や国際審判員というさらに高い目標を目指していきます。そして、これまでご支援いただいた方々や共に頑張ってきた審判員の方々にも自分自身が学んだことや経験してきたことを少しでも伝えることが出来ればと思います。

昨年一年間、1級審査を通してより仲間の大切さを学びました。

レフェリングに限らず、様々な場面の仲間からのアドバイスや意見が自分を大きく成長させてくれたことを実感しています。仲間からのアドバイスや意見がなければ自分はここまで成長することは出来ていませんでした。そうした審判仲間の皆さまに少しでも恩返しをすることが出来れば、それが埼玉県審判や、埼玉サッカー全体の発展に少しでも役に立つのではないかと考えています。

今後も微力ながら、埼玉県のサッカー界に貢献していけるよう努力してまいりますので、よろしくお願いいたします」



インフォメーション

●埼玉県シニアサッカー連盟創立30周年記念式典並びに記念祝賀会、開催

1月25日、ラフレさいたまにおいて表題の会が催されました。1984年に連盟が設立され、2001年に県社会人連盟の傘下から独立し、現在37チーム、1400人の選手の皆さんが登録し活動をされています。

この日は功労者表彰として、以下の7名の皆様が受賞されました。広羽良一(元相談役)、中山洋(元相談役)、小川時雄(第4代会長)、長竹義廣(第5代会長)、関口勝久(第6代会長)、吉野武(元事務局長)、前田輝雄(相談役)

皆様おめでとうございます。と同時に、現執行部の皆様、お疲れ様でした。そして、現在登録されている皆様、引き続き、サッカーを大いに楽しんでください。



●JFAキッズ(U-6)サッカーフェスティバル、開催

1月26日、埼玉スタジアム第2グラウンドにおいて、表題のキッズフェスティバルが開催されました。午前、午後合わせて、765名の子供たち、そして1500人も親御さんがサッカーを楽しんでくれました。

午後はあいにくの強風となってしまいましたが、午前の部は小

春日和の中、子供たちだけでなく親御さんたちからも「面白かった」という声が聞かれました。引き続き、開催していきたいと思っています。越谷西高校サッカー部の皆さんをはじめ、スタッフの皆さん、お疲れ様でした。



●来年度の彩の国カップについて

来年度開催される第94回天皇杯全日本サッカー選手権大会の日程が前倒しになる関係から、今回は変則的な開催となります。

現在、すでに埼玉県社会人サッカー連盟会長杯が行われています。ここには2種クラブも参加しており、3月2日(日)に決勝(熊谷スポーツ文化公園陸上競技場)を行い、「社会人」代表を決定します。同様に大学連盟でも予選を行い、3月23日(日・予定)に「大学」代表が決定します。

この両者が3月30日(日)に対戦する試合を「彩の国カップ」とし、ここでの勝者が天皇杯埼玉県代表となります。結果など詳細は、SFA公式ウェブサイトをご覧ください。

●WEB登録システムがリニューアルします!

2014年4月1日から、JFA登録サイト「KICK OFF」がリニューアルされることになりました。詳細はJFAのホームページ <http://www.jfa.or.jp/newkickoff/> をご覧ください。

編集後記

●浦和が脚光を浴びました。対抗が深谷。こんな見方で地域競争があるのもスポーツのおもしろさかな。(坂庭)

●先日、冬の京都を旅してきました。地元の皆さんや外国からの旅行客の皆さんとのふれあい旅になり、とても楽しかったです。今年もたくさん旅行したいな!(こいち)

●年末から年明けにかけて、いつも以上に慌ただしくしていましたが、時々周りの人の温かさや優しさをとても感じました…。嬉しくありがたく思うばかりです!(かのう)

●お正月に甥っ子と会いました! 上手くコミュニケーションが取れず困っております… つくづく小さい子供が苦手なんだなあと感じてしまうお正月でした……(笑)。

2014年もよろしくお願い致します!!

(佐々木)

●2月8日から高校の県新人戦が始まります。その前に4地区で予選がありましたが、どこも熱戦が繰り広げられたようです。私は南部の埼玉栄と浦和東の決勝を観戦しました。0対0からPK戦での決着となりま

したが、好ゲームでした。時期的にまだ試行錯誤かもしれませんが、夏、そして秋に向けて、いい積み上げをしてもらいたいものです。

さて、選手権の代表として健闘された市立浦和高校の池田監督へのインタビューが、新人戦開幕前には、2種高校のホームページ <http://www.sfa2.net/> に掲載予定です。こちらもお楽しみに。でも、この編集後記を書き終わったのですが、インタビューはまだ終わっていません……。(荒川)